

木オだよソ

社会福祉法人 東香会

しぜんの国保育園 small village

Sept. 2023



法人理念
いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

9月主題 草に降りた露 その光の玉を見つめて

色とりどりの夏の思い出を子どもたちが話してくれます。「宮古島に行った」「たこ焼き食べた」「おばあちゃんち行った」「山に行って木のお風呂に入った」「アイス食べた」「お兄ちゃん宿題やってない」

私の夏の思い出の一つは久しぶりのフェス。電子音楽が好きで、ソニックマニアというイベントに行ってきました。久しぶりの明け方までのイベント。（もしかして行かれた方いますか？）楽しかったのですが、同時に自分の体力が落ちているのを感じ、なかなか疲れが取れない夏を実感しました。疲れると愚痴も増えていけないな、と思います。心も体も筋力をつけたいところです。

9月ですね。今年の夏は本当に酷暑で保育計画を立てるのも殊更工夫が必要でした。暦どおり秋が来て（秋が来ることを信じて）保育が深まるこの季節をたっぷり味わいたいなと思います。

子どもたちと過ごす2期。子どもたちが暮らしの土台を身につけているからこそ、子どもたちひとり一人の「やってみたい」を大切に、子どもも大人もまざり合い、響きあう暮らしを大切にしていきたいと思います。

2期もどうぞよろしくお願いいたします。

園長 齋藤美和

じむしょ 小窓 だより

猛暑が続いた今夏。海や川、キャンプに花火・・・子どもたちからたくさんの夏の思い出を聞く中で今年最も多く聞かれたのは「お祭り行ったよ！」の声。制限がなくなった中、各所でお祭りが行われ賑わいが戻ってきた夏を過ごした方も多かったのではないかと思います。ここ数年、幼児組では子どもたちが色々なアイデアを出し合い作り上げる「祭り」が行われていますが、今年はずぼみ組1歳の子どもたちからも「おまつりいったの!」「わたあめ!」と教えてくれたり、保護者の方々からも「初めてお祭りに行ってきました」という声を聞く機会が多かったです。そこで、つぼみ組でもお祭りを!と企画し子どもたちと一緒にクワガタ神輿を作ったり、提灯を作ったり...と準備を進め先月末つぼみ祭りを開催しました。

迎えた当日の朝。朝サルビアの当番だった宇野さんと私で法被を着てみんなのことを待っていると、いつもとは違う雰囲気を感じ取り私たちを見つめしばらく動きが止まってしまう子や「見て!」と着てきた甚平を嬉しそうに見せてくれる子どもなど様々な姿を見せてくれました。そしていよいよ祭りがスタート!1歳の子どもたちはクワガタ神輿を担ぎ、部屋を練り歩きながら「ラッセラー!ラッセラー!」の掛け声を響かせます。私は「わっしょい!」と声を出していたのですが、宇野さんに「えみさん!掛け声はラッセーラで!」と言われ「え?わっしょい!じゃないの?」と話すと「しぜんの国と言えばラッセラーですよ!今のつぼみさんが幼児組になった時、あれ?なんか聞いたことあるな~と思う時が来るかもしれないですね!」と話してくれました。その話を聞き私の中でもしぜんの国の祭りといえば幼児組になってから経験する荒馬や龍太鼓の印象が強く毎年その掛け声を子どもたちと響かせてきたことを思い出しました。



日々の中で、幼児組の姿を見て感じ取ることも多いつぼみ組の子どもたち。また、今の幼児組の子どもたちはこれまでに経験した出来事が頭の片隅に残っていて記憶を辿りながら伝えてくれることがあります。宇野さんとのやりとりを通し改めて「今」だけでなくその先を見つめる保育者でありたいと思いました。当日は甚平を着てきてもらったり、保護者の方から「お祭り楽しんでほしいです!」とお声掛けをいただいたり、お迎え時に様子をお伝えすると嬉しそうにお話を聞いて下さる姿がありました。日頃、園での様子を見る機会が少ない中で、「今頃保育園でお祭り楽しんでるかな」と思いを馳せて下さっていたことも嬉しく思いました。残念ながら当日参加できなかったお友達もいるのでまたみんなで楽しめることを考えていきたいです!今月は幼児組やすみれ組の夏祭りも行われます。園全体がお祭りムードになる日。つぼみ組の子どもたちもその雰囲気を感受できるような時間を作り、乳児組と幼児組が交ざり合う中での関係性を深めていきたいです。

マネージャー 鈴木絵美

村の春夏秋冬

~季節のたより・9月~

『敬老の日』

長年、みんなのために働いてきたおじいちゃん、おばあちゃんは人生の大先輩。「元気で長生きしてほしい」という気持ちを込めて『敬老の日』にお祝いをする風習があります。

また、大昔に聖徳太子が悲田院というお年寄りや病人の為の施設をつくったことから『としよりの日』という記念日ができたのが始まりとも言われているそう。(諸説あり)

母の日・父の日は外国生まれの記念日ですが、敬老の日は日本生まれ。相手を敬う心を大切に日本ならではの日、ありがたの気持ち伝える時間を大切にしたいですね。

保育者 リレー エッセイ

今月の担当は用務として園の生活を様々な面で支えてくれている上島足日さんです。学童一時預かりも担当して夏休みは連日たくさんの小学生と一緒に過ごしています。そして何より、この村だよりでは毎月の漫画劇場でおなじみですね。

【私も子どもたちもいつもワクワクしている上島さんの紙芝居。絵を描く事が苦手な私にとってはとても羨ましいです！絵を上手に書くコツや芸術に魅せられたきっかけなどありましたらぜひ教えてください。】

山崎さん、ご質問ありがとうございます。

実は自分自身、絵を上手に描けたと思ったことはありません。描き終えた後に「あそこうだったな」とか「ここ、こうしたら良かったな」と思うことのほうが多いのです。高校生の時まではデッサンの絵のような見たそのままを描けることこそが、凄いことだと思っていましたが、色々なアーティストの作品に出会い、自分の体験したこと、感じたことを自分にあう画材を使っていきいきと表現できている絵のほうが魅力的だなと感じるようになりました。一見、形や線が歪だったとしても、そこにその人自身の思いがしっかり入っていれば、魅力的だと僕は思います。ほんの少しでも、とにかく日々描き続けることが大切です。

芸術に魅せられた瞬間は、小学生の時、小さなギャラリーでスズキコージの絵に出会ったのが初めてだったと記憶しています。描かれている生き物？は不気味なのに、独特な配色や勢いのあるタッチが美しく、圧倒されてしばらくその絵の前で立ち尽くしていました。そんな僕の姿を見た父は、その絵を購入してくれるのでした。息子の心が動いた瞬間を見逃さなかった父に感謝です。

絵を描く時、ついつい余計なことを考えてしまい固くなってしまふことが多々あります。子どもたちののびのびとした線や、大胆な色使いを見るとハッとさせられます。沢山の刺激を受けられるしぜんの国保育園で子どもたちと一緒に過ごすことができ、本当に幸せです。僕からも紙芝居や漫画などを通して、子どもたちにお返しができる良いなと思っています。

今回は・・・今年度から新しく給食室のメンバーとなった多田明日香さんです。いつも美味しい給食をありがとうございます。9月の誕生会では明日香さん発案のメロンケーキが出てきて、とても美味しかったです。今まで食べてきた料理の中で、心に残った・感動した料理やその時のエピソードを教えてください。

かみじまのんびり 漫画劇場

「なにしてるの？」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」 YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>